

埼 事 研 発 第 8 0 号
令和 5 年 1 1 月 1 0 日

埼事研各支部長 様
埼玉県内市町村代表者様
埼玉県内市町村調査担当者様
埼玉県小中義務教育特別支援学校事務職員様

埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会
会 長 浅野 直樹

令和 5 年 1 1 月期全事研調査ご協力のお願い

晩秋の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本会の活動にご理解・ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、毎年ご協力をいただいております全国公立小中学校事務職員研究会（全事研）の「11月期調査」（調査No.2「学校での教材備品の整備に関する調査」・調査No.3「校務運営に参画する事務職員の力量形成に関する調査」）につきまして、別紙のとおり調査依頼がありました。今年度も調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、全事研からの調査依頼文書には、調査項目 調査1 人材育成に関する調査（調査対象：都道府県・政令市・中核市 ※ 調査方法：別添 Excel ファイル）の記載がありますが、令和5年5月期調査 調査2において人材育成指標の策定が「ある」と回答された支部・政令市・中核市（別表）を対象としているため、埼玉支部は該当がなく回答は不要であり今回の調査依頼からも除いております。

記

1. 調査内容及び回答期限・方法

（1） 調査No.2 「学校での教材備品の整備に関する調査」

ファイル名 ①【調査2】依頼文書（所属長あて）
②【調査2】設問・回答シート

調査対象 各支部2市町村抽出し、それぞれ2～6校が回答（裏面「補足」参照）
※お手数ですが、抽出につきましては各支部様でご対応をお願いします。

回答期限 令和5年11月30日（木）

回答方法 エクセルファイルに入力後、調査集計担当（入間市立野田中学校 事務主幹 大澤 啓）へメールにてご回答ください。

【 回答先メールアドレス 】 j-noda-jimu1@iruma-school.jp

補足【全事研依頼文より抜粋】（参考）

調査2 学校での教材備品の整備に関する調査（調査対象：抽出市区町村立小・中学校）

〔目的〕学校教材の安定的かつ計画的な整備を図るための基礎資料作成

（本調査は一般社団法人日本教材備品協会（JEMA）からの付託を受け行います）

調査2は、各支部において10市区町村を抽出し、さらに、抽出された市区町村において、以下の要件による小学校・中学校の抽出をしてください。（該当政令市 においては市区町村の抽出はありません）

【抽出要件】

同一市区町村で小学校・中学校とも学級数の段階により最多6校・最少2校の抽出をお願いします。

学級数の段階は、「6学級未満」、「6学級以上12学級未満」、「12学級以上」とします。

それぞれの段階から小・中学校を1校ずつ抽出すると計6校となります。

学級数は通常学級の合計数です。

市区町村の規模により、それぞれの段階から学校を抽出することができない場合も多いと思いますが、そのときは小・中学校各1校、計2校の抽出で結構です。

（2） 調査No.3 「校務運営に参画する事務職員の力量形成に関する調査」

ファイル名 ③【調査3】依頼文書（事務職員あて）

調査対象 市町村立小・中・義務教育・特別支援学校事務職員

※全事研加入・非加入を問わず、すべての事務職員が対象となります。

回答期限 令和5年12月7日（木）

回答方法 W e b（Microsoft Forms）上で学校事務職員各自が直接回答

回答先 【調査3】Microsoft Forms

<https://forms.office.com/r/qyC4gadkCi03>



2. 照会先

埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会 副理事長 大澤 啓
（入間市立野田中学校 事務主幹）

〒358-0054 埼玉県入間市野田 1741

T E L : 04-2932-7301 F A X : 04-2932-8322

メールアドレス j-noda-jimul@iruma-school.jp

全事研支部長 様
該当政令市代表者 様

全国公立小中学校事務職員研究会
会長 前田 雄仁

令和 5 年 11 月期調査について（依頼）

秋冷の候、貴支部におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会に対し温かい御支援と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和 5 年 11 月期調査を下記のとおり実施いたします。御多用の時期とは存じますが、学校事務業務の進展と学校教育の推進に寄与するという趣旨を御理解いただき、下記調査に御協力くださいますようお願いいたします。

記

1 調査項目

調査 1 人材育成に関する調査

（調査対象：都道府県・政令市・中核市 ※ 調査方法：別添 Excel ファイル）

〔目的〕 全事研が掲げる「第 4 期学校事務のグランドデザイン」では人材育成指標を、任命権者が事務職員の人材育成方針とキャリアイメージ全体を見通して計画的に資質能力を図るための手立てとして、なくてはならないものと考え、全自治体で策定されることを目指しています。本調査では、人材育成指標や先行自治体の活用状況を共有することで、本部研究の資料とするとともに、各地区における人材育成指標策定推進の一助とします。

※ 本調査は令和 5 年 5 月期調査 調査 2 において人材育成指標の策定が「ある」と回答された支部・政令市・中核市（別表）を対象としています。対象支部以外は回答不要です）

調査 2 学校での教材備品の整備に関する調査

（調査対象：抽出市区町村立小・中学校 ※ 2 調査方法：別添 Excel ファイル）

〔目的〕 学校教材の安定的かつ計画的な整備を図るための基礎資料作成

（本調査は一般社団法人日本教材備品協会（JEMA）からの付託を受け行います）

※ 2 調査 2 は、各支部において 10 市区町村を抽出し、さらに、抽出された市区町村において、以下の要件による小学校・中学校の抽出をしてください。（該当政令市 においては市区町村の抽出はありません）

【抽出要件】 同一市区町村で小学校・中学校とも学級数の段階により最多 6 校・最少 2 校の抽出をお願いします。学級数の段階は、「6 学級未満」、「6 学級以上 12 学級未満」、「12 学級以上」とします。それぞれの段階から小・中学校を 1 校ずつ抽出すると計 6 校となります。学級数は通常学級の合計数です。市区町村の規模により、それぞれの段階から学校を抽出することができない場合も多いと思いますが、そのときは小・中学校各 1 校、計 2 校の抽出で結構です。

調査3 校務運営に参画する事務職員の力量形成に関する調査

(調査対象：市区町村立義務教育諸学校事務職員 調査方法：Microsoft Forms)

〔目的〕 事務職員の校務運営への参画と力量形成の実態を把握することで、力量形成モデルの開発・提案を推進する研究の基礎資料とする。

2 回答期限

令和5年12月7日(木)

＊ 調査1、2についての各回答ファイル名は

「支部(該当政令市)番号(半角)＋支部(該当政令市)名＋調査No」としてください。

例) 22 静岡 01、231 名古屋市 05 など

01	北海道	11	埼玉	20	長野	28	兵庫	37	香川	47	沖縄
02	青森	111	さいたま市	21	岐阜	29	奈良	38	愛媛		
03	岩手	12	千葉	22	静岡	30	和歌山	39	高知		
04	宮城	13	東京	23	愛知	31	鳥取	40	福岡		
05	秋田	14	神奈川	231	名古屋市	32	島根	41	佐賀		
06	山形	15	新潟	24	三重	33	岡山	42	長崎		
07	福島	16	富山	25	滋賀	331	岡山市	43	熊本		
08	茨城	17	石川	26	京都	34	広島	44	大分		
09	栃木	18	福井	271	大阪(小)	35	山口	45	宮崎		
10	群馬	19	山梨	272	大阪(中)	36	徳島	46	鹿児島		

3 調査結果の公開

調査結果は、全事研Webのアクセス制限のある(ユーザー名・パスワードの設定のある) 会員専用ページ「全事研データベース」に公開する予定です。また、概要を会報にてお知らせいたします。

また、今回の調査より、利用時の許諾条件(データの引用および二次利用時のクレジット表記)に応じていただく場合に限り、会員や研究者・研究団体のお問い合わせに応じて集計結果のEXCELデータを提供させていただきます。なお、これに伴い公開を希望しない場合は、その旨を御連絡ください。

4 回答送付先及び照会先

全事研Webに支部長IDでログインし、各ルームより御回答・御照会ください。

▼回答先：【調査1・2】調査等提出関係ルーム「11月期調査提出ルーム」

回答ファイル名に注意してください。

【調査3】Microsoft Forms

<https://forms.office.com/r/qyC4gadkCi>



▼照会先：調査等提出関係ルーム「調査等問い合わせルーム」

全国公立小中学校事務職員研究会

情報推進部 部長 古田 昌史

〒440-0086 愛知県豊橋市下地町長池1

豊橋市立北部中学校 TEL 0532-52-3108

(別表) 令和5年度5月期調査 調査2
人材育成指標が「ある」と回答した自治体(15県、2政令市、7中核市)

支部	政令市	中核市
岩手県(H22)	横浜市(神奈川県)(R4)	宇都宮市(栃木県)(R3)
秋田県(H元)	新潟市(新潟県)(H30)	一宮市(愛知県)(R3)
新潟県(H29)		豊橋市(愛知県)(R5)
山梨県(H30)		大津市(滋賀県)(R3)
岐阜県(R4)		奈良市(奈良県)(R2)
静岡県(R2)		倉敷市(岡山県)(R5)
三重県(R2)		高知市(高知県)(R4)
滋賀県(R3)		
奈良県(R2)		
鳥取県(R2)		
島根県(H29)		
徳島県(R5)		
香川県(R4)		
高知県(H17)		
佐賀県(H30)		

調査対象学校長 様

全国公立小中学校事務職員研究会
会長 前田 雄仁

令和 5 年 11 月期調査 2 「学校での教材備品の整備に関する調査」について（依頼）

秋冷の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会に対し温かい御支援・御鞭撻をいただき、厚く御礼申し上げます。

本会は、会員の資質向上を図り、学校事務の研究をもって学校教育の推進に寄与することを目的としています。

つきましては、下記の趣旨を御理解いただき、調査に御協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 調査目的

新学習指導要領が、令和 2 年度から小学校、令和 3 年度から中学校において実施されています。子どもたちの確かな学力の育成を図るためには、学校教材の安定的かつ計画的な整備を図ることが極めて重要と考えます。

そこで、学校での教材備品の整備状況について調査を実施し、今後の整備に向けた基礎資料とさせていただきます。

2. 調査方法 E x c e l ファイル入力による回答

3. 調査内容 別添ファイルのとおり

4. 回答期限 支部・代表者が指定する日

5. 調査回答方法 支部・代表者が指定する方法

市区町村立義務教育諸学校事務職員の皆様

全国公立小中学校事務職員研究会
会長 前田 雄仁

令和 5 年 11 月期調査 3 「校務運営に参画する事務職員の力量形成に関する調査」
について御協力をお願い

秋冷の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会に対し温かい御支援、御鞭撻をいただき、厚く御礼申し上げます。

全国公立小中学校事務職員研究会では、本会の掲げる「第 4 期学校事務のグランドデザイン」の具現化や「第 10 次研究中期計画」の推進のため、毎年 11 月に各支部や各市区町村における学校事務に関する調査を行い、研究資料としております。今年の調査につきましては、下記のとおり事務職員対象とした調査を計画いたしました。

校務御多用の折、誠に恐縮ですが、御協力いただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

記

1 調査目的

第 56 回大会に向けた研究において、事務をつかさどる姿と効果的な力量形成の在り方を追究するために、事務職員の校務運営への参画と力量形成の実態を調査し、研究の基礎資料とします。また、第 4 期のグランドデザインの実現に向けた学校経営参画の状況を調査します。

御回答いただいた調査結果は第 56 回全国研究大会における戦略領域のための研究資料として活用させていただきます。

2 調査対象 市区町村立義務教育諸学校事務職員

3 調査内容 別紙のとおり

4 回答期限 令和 5 年 12 月 7 日 (木)

5 回答方法 Microsoft Forms <https://forms.office.com/r/qyC4gadkCi>



担当：全国公立小中学校事務職員研究会研究開発部 部長 石田衣絵

埼玉県春日部市立豊野中学校 TEL：048-737-0440 e-mail:kakko0601@gmail.com

校務運営に参画する事務職員の力量形成に関する調査

【調査内容】

- 1 支部名（政令市・中核市の場合は都市名を記述してください）
- 2 校種をお答えください。
①小学校 ② 中学校 ③ 特別支援学校 ④ 義務教育学校 ⑤その他
- 3 経験年数を次の範囲から選択してください。
① 1～5年 ② 6～10年 ③ 11～15年 ④ 16～20年 ⑤ 21～25年
⑥ 26～30年 ⑦ 31年以上
- 4 あなたは以下の会議にどのようにかかわっていますか。あてはまるものを選択してください。

会議一覧

- ① 企画委員会
- ② 教育課程の編成に関する会議
- ③ 予算委員会
- ④ 教職員の勤務に関する会議（労働衛生委員会など）
- ⑤ 教職員の研修・研究に関する会議
- ⑥ 各教科に関する会議
- ⑦ 生徒指導に関する会議
- ⑧ 進路指導に関する会議
- ⑨ 給食・食育に関する会議
- ⑩ 特別支援教育委員会
- ⑪ 学校評価に関する会議
- ⑫ 学校運営協議会
- ⑬ 学校評議員会
- ⑭ 危機管理に関する会議（防災委員会など）
- ⑮ 情報化に関する会議（情報推進委員会）

会議への参加レベル

- ① 主催・運営者として取り組んでいる
 - ② 常時出席し、検討や提案を行っている
 - ③ 必要に応じて出席し、検討や提案を行っている
 - ④ 出席はしないが、事務職員として資料提供などを行っている
 - ⑤ 出席しているが、発言はせず、主に情報を入手している
 - ⑥ かかわっていない
- 5 あなたが校務運営参画や業務改善などの実践を行う上で参考にしているもの、生かしている経験を段階に応じて1～4から選択してください。（項目で該当するものがない場合はチェックをつけず進めてください）

参考にしているもの一覧

- ① 所属する学校の教育目標
- ② 自治体が策定した事務職員の人材育成指標
- ③ 支部・市区町村（政令市や中核市含む）事務研究会が作成した事務職員育成指標
- ④ 支部内で参加を原則とする事務職員研修
- ⑤ 学校事務研究大会（全事研や他支部を含む）への参加
- ⑥ 自主的に参加する研修会やセミナー等
- ⑦ 共同学校事務室等（学校事務の共同実施）での活動
- ⑧ 支部・市区町村（政令市や中核市含む）の事務研究会での活動
- ⑨ 外部研究団体での活動

- ⑩ 有志で行う学習会
- ⑪ 事務処理の手引
- ⑫ 実践事例集（Web で公表されている情報を含む）
- ⑬ 研究者の論文や参考文献（雑誌を含む）
- ⑭ 関連資格の取得並びに取得のための学習

参考にするレベル

- ① 常に参考にしたり、生かしたりしている
- ② ときどき参考にしたり、生かしたりしている
- ③ あまり参考にしたり、生かしたりしていない
- ④ 参考にしたり、生かしたりしていない

6 前の質問で選択肢以外の参考や経験がある場合、内容を入力してください。

7 【共同学校事務室及びそれに類する組織に所属している方にお伺いします。】

あなたが所属する共同学校事務室等における学習機会の確保について、実際に行われているものをお答えください。

- ① 複数の共同学校事務室等で実施する合同研修
- ② 外部講師を招いた講義
- ③ 都道府県単位で共通の計画に沿った研修
- ④ 市区町村単位で共通の計画に沿った研修
- ⑤ 共同学校事務室等で作成した計画に沿った研修
- ⑥ OJT
- ⑦ 学習や実践の成果の発表・共有
- ⑧ 室長等による室員の実践の評価
- ⑨ 取り組みなし
- ⑩ その他（ ）

8 前の質問で選択された項目に関して、具体的な内容を御紹介いただけるものがあれば、お聞かせください。

9 今回お答えいただいた内容について、必要に応じて詳細をお伺いするための取材、または問合せをさせていただくことは可能ですか。

- ① はい ② いいえ

（9で「① はい」を選択された場合）

10 氏名

11 所属

12 所属電話番号

13 メールアドレス

回答いただき、ありがとうございました。